

## 先週のマーケット動向(8月2日～8月6日)

為替、株式

|         | Open     | High     | Low      | Close    | Chg    |
|---------|----------|----------|----------|----------|--------|
| USD/KRW | 1,152.0  | 1,154.0  | 1,140.4  | 1,142.1  | ▲8.2   |
| JPY/KRW | 10.4995  | 10.5520  | 10.3869  | 10.3979  | ▲0.096 |
| KOSPI   | 3,218.42 | 3,296.17 | 3,194.00 | 3,270.36 | +68.04 |

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下落した。7月30日の海外時間に株式市場が調整相場となったことで、ドル/ウォンはやや上昇し1,152.0 ウォンでオープン。2日入ってもリスクオフ地合が強く、外国人投資家による株売りが入るとドル/ウォンも週高値1,154.0 まで上昇した。しかし、海外時間に米国フィラデルフィア半導体指数が節目の3,400ptを越えて上昇したことを背景に、3日には韓国でも半導体株を中心に外国人投資家による株買いが入り、ドル/ウォンは上値の重い展開。4日にかけても良好な7月中国サービス業PMI(結果:54.9、予想:50.5)等を背景にドル/ウォンは下落した。5日以降は、米雇用統計を除き市場で主だった材料がない中、様子見ムードが強まりドル/ウォンは1,140 台前半で方向感に乏しい展開が継続。6日には1,140.2 まで下落し、1,140 割れを試す局面もあったものの、この水準では実需のドル買いが入り反発し、結局、先週末対比 8.2 ウォン下落の1,142.1 ウォンにてクローズ。

## 今週の見通し

今週のドル/ウォン相場はやや底堅い展開を予想する。市場参加者が少なくなる夏枯れ相場の様相を見せつつも、FRB高官による米雇用回復への力強いコメントや市場予想を上回る米雇用統計の結果を背景に、ドル買い優勢の展開に戻りつつある。先週10bp以上の金利上昇をした米10年債利回りは現在1.30%近傍で推移しており、3月後半に1.70%台まで上昇したことを勘案すると上昇幅はまだ十分ある印象だ。リスクナリオとして新型コロナ感染拡大によるリスクオフも考えられるものの、こちらもドル/ウォンの上昇要因となろう。

### 予想レンジ

| USD/KRW     | JPY/KRW       | USD/JPY       |
|-------------|---------------|---------------|
| 1130 ~ 1155 | 10.20 ~ 10.50 | 109.2 ~ 111.2 |

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

## USD/KRW チャート (Source: Bloomberg)



## JPY/KRW チャート (Source: Bloomberg)



## 今後の予定

- 9日(月) 中 7月 PPI  
中 7月 CPI
- 10日(火) 日 6月 国際収支
- 11日(水) 米 7月 CPI  
韓 7月 失業率
- 12日(木) 米 7月 PPI
- 13日(金) 米 8月 ミシガン大消費者マインド指数 速報値